

第 290 回競技委員会議事録

1. 日 時：2024 年 11 月 6 日（水）18 時 00 分～20 時 50 分

2. 会 場：四谷ブリッジセンター B1

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 14、定足数 10、出席 13 で成立。

山後秀幸委員長、寺本直志、ロバート・ゲラー、斉藤千鶴乃、桜井雅子、久富健史、
吉田正、仲村篤志、正村祐一、浅越ことみ

Zoom で出席：波多江隆児、石橋瑞己、宋逸寒

欠席：山田和彦競技会事業担当理事

オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：山後秀幸委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 クラブディレクター承認の報告

厚見 昂汰 247696 C-01232 京都府

第 2 号議案 セクショナルディレクターの承認

井上 啓子 218221 C-01165 神奈川県

推薦者 宮崎 雅子 148791 N-00011

第 3 号議案 各ワーキンググループからの報告

1) MPWG からの報告

- ・サロンに対して MP を発行することについて審議した。0.01 点のサロンポイントを発行することについては問題ないと判断し、今後センター会議で意見を聞いた上で詳細な発行基準を検討することとした。
- ・ナショナルの MP をチーム固定ではなく個人固定とする提案について、現状通りとすることとした。
- ・FunBridge で JCBL の MP を発行するという提案について見送ることとした。
- ・SP の再評価については検討中であるという報告があった。
- ・競技会の参加ポイントについては改めて WG で検討する。

2) 規則要項 WG からの報告

- ・2024 年度に 2 日間で開催した全日本地域対抗選手権関東予選について、2025 年度以降は 2 日間のラウンドロビンで開催することで合意した。各チーム数に対して具体的な方式を今後検討する。
また、全日本地域対抗選手権関東代表に対する助成内容を他地区に合わせて次のように変更することとした。全フライト、交通費の 75%を助成する。
ただし、フライト A のみ、参加費を合わせて助成する。
- ・新規ナショナルについて検討した結果、年間スケジュールがタイトであること、また既存ナショナルのテーブル数増加をより重要視する必要があることから、見送ることとした。
- ・喫煙規定の検討のための顧問弁護士への問合せ内容について確認した。

3) リーグ WG からの報告

クラブリーグ主催の3センターが継続を希望しており、現行の方式を維持することとした。日本リーグ2部のチーム数は、クラブリーグ数に変更がない間は現行の方式を継続することとした。

クラブリーグの参加チーム数増加の方策として、主催センターにて2日制の検討するという報告があった。

第4号議案 その他議案

- 1) 渋谷 BC より、春季リジョナル試合方式変更の申請があり審議した。現状の SKO + スイスチームは特に参加チームが少ないと運営が難しく、SKO で負けたチームはスイス戦で勝っても1チームしか入賞しないため評判が悪い。2日間のラウンドロビンチームに変更を希望している。審議の結果、2024年度開催分についてはラウンドロビンチームへの変更を認め、2025年度以降については参加者の意向を調査した上で改めて検討することとした。
- 2) コンベンションカードのダウンロードについて意見を交換した。
- 3) コンベンション規定やアラート規定の変更などがあった場合の会報告知記事について、各センター等に掲示すべきという意見があり、事務局で対応することとした。
- 4) 高松宮記念杯で不戦敗があったことについて、競技会参加には全日程参加可能である必要があることを、次回の高松宮記念杯募集の際に改めて告知することとした。

次回競技委員会は2025年1月8日(水)18時00分から渋谷ブリッジセンターでの開催を予定する。

以 上